



快適な生活環境と自然を守る
城里町環境センターが
生まれ変わりました
平成30年度から進めてきた、新ごみ処理施設の建設工事が完了し、3月下旬から本格的に稼働が始まりました。

◆施設の概要

施設名称 城里町環境センター
所在地 城里町下古内1680
敷地面積 約8,560㎡
着工 平成30年12月12日
竣工 令和3年3月25日
施設規模
【焼却施設】20t/日(20t/12h×1炉)
【リサイクル施設】1.9t/日



◆環境への対策と配慮

城里町環境センターは、従来の施設と比べ、より生活環境を配慮した、安全で衛生的にごみや資源の処理ができる施設へと生まれ変わりました。

1. 排ガス

ごみを燃焼した時に出る排ガス中のばいじんおよびダイオキシン類は、高性能の集じん器で基準値以下となるよう処理されます。

3. 集じん灰

ろ過式集じん器で捕集されたばいじんは、埋立地での重金属の溶出を防止するため、飛灰処理設備で安定化処理されます。

2. 汚水

ごみ汚水は、ごみと共に焼却炉内で焼却し、その他の汚水は排水処理設備で処理した後、施設内で再利用するクローズドシステムとしています。

4. 臭気

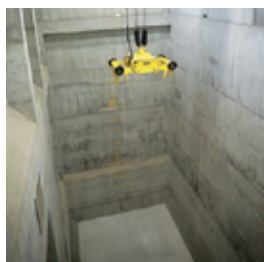
ごみピットから発生する臭気は、燃焼用空気として焼却炉へ送り、850℃以上の高温で分解され無臭となります。

◆循環型社会の形成

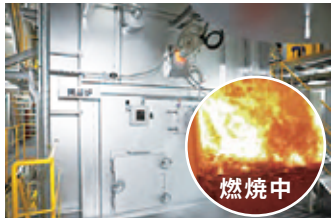
城里町では、「循環型社会形成推進基本法」に定める『3R原則』に基づき、「ごみの減量化を推進することを第一とし、排出されたごみはできるだけリサイクルに回す」ことを基本として、ごみ処理を行います。

◆ 主な設備

焼却施設



◀ごみビット・ごみクレーン
ごみビット内に一旦貯留されたごみは、よく燃えるようにクレーンで攪拌され、燃焼室に投入します。



▶燃焼室
ごみは、850℃以上の高温で焼却します。

リサイクルセンター



◀手選別コンベヤ
作業員が種類ごとに手で選別するとともに、異物を取り除きます。



▶磁選機
磁石の力でスチール缶を選別します。

◆ごみを持ち込む場合の注意事項

- ・施設内では、安全のため職員の指示に従ってください。
- ・ごみの持ち込みは、原則として、ごみを出される本人またはご家族が行ってください。確認のため、身分証および排出先がわかる物の提示をお願いします。
- ・原則、ご自身でごみを降ろしていただきます。
- ・町外からの搬入はできません。

▼搬入路（搬入が赤線、退出が青線）



処理料金

30kgまで無料。30kgを超えた場合は、10kgにつき100円。

その他、ご不明な点は城里町環境センターまでお問い合わせください。

問合せ 城里町環境センター ☎029-288-5525

※町長コラム※

大規模公共施設『環境センター新築工事』の財源はどこからでているの？

町のお財布事情など、町長が町民の皆様へお伝えしたいことを不定期に掲載していきます。

新環境センターの完成により、今後、安定したごみ処理が行われ、より清潔な環境を町民の皆さまに提供できるようになりました。さて、城里町にとって過去最大の公共工事となりましたが、そんな大事業を行うお金は、どのように用意されたのでしょうか？

まず、当初の事業費(工事費および監理費)は約35億円でしたが、競争入札により約29億円で落札され、計画より約6億円少ない金額で契約できました。

次に、この約29億円の財源内訳ですが、国からの交付金(補助)等として、①循環型社会形成交付金(環境省)の約8億円、②震災復興特別交付税の約15億2千万円、③合併特例債に係る元金および利子の70%、約3億6千万円が普通交付税に措置される予定となり、残りの④約2億6千万円が城里町の財政負担で、総事業費に対する町の負担割合は8.9%となりました。各種の国の補助制度を活用し、少ない財政負担で立派な施設を作り上げることができたのは、時機を逃さず、円滑な事務執行を担った担当課職員の長年の努力の成果といえます。

財源(約29億4,408万円)の内訳

